

(株)タイカ、(株)モンベル、(株)ピラミッドジャパンより賛同・支援をいただいています。

<http://www.angkorclimbers.net/>

2020/10/06

コロナで生活は大変ですが、クライミングはがんばって続けています



例年なら雨季休み中の9月7日からカンボジアの小中高等学校が再開しました。地域によりますが、シムリアプの小学校ではクメール語と算数だけ週2日、中学校は国家試験のある9年12年だけ登校など変則的です。いつもは11月から新学年ですが、今年は11月まで授業した後になるようです。スポーツ活動は、5月末から条件つきでOKになっていましたから、子供たちはインターネット授業の合間に、むしろのびのびとクライミングの練習ができました。でも、中には家計を助け出稼ぎに行った高校生もいます。観光収入に頼っているシムリアプの人々の暮らしは、楽ではありません。



4月の正月休みが今年は8月に延期され、本来4月のクメール新年前後は州をまたぐ移動は禁止でした。きびしい在宅規制が解けて5月にはじめて行った外岩はスバイルーのボルダー。この時はまだ、クライミングウォールなどのスポーツジムは、「子供たちが出入りしないように、保護者が監督すべき施設」とされていました。5月22日に保健省からスポーツ練習や試合の条件付き許可が出て、5月31日の日曜日から通常の日曜練習を再開しました。



以前ここで練習していた柔道クラブの皆さんも登りに来ました。今では国際日本文化学園に立派な柔道場があります。

新CCF(Cambodia Climbing Federation) 活動を始めたいま

前号の26号でお知らせしましたように、今年2月、創立10年目にしてはじめてCCF(カンボジアクライミング連盟)が定款通りの総会を開き、2024年までの役員を選びました。翌月からシェムリアップのアンコールウォールや、カンボジアで最多のクライミング人口をかかえるプノンペン郊外のプノンクライム <https://www.facebook.com/PhnomClimb> が新型コロナのため開けられなくなりましたが、先に許された屋外から早速講習会を開始しました。9月にはじめには、プノンペン郊外カンボット州のコンポントラッチの岩場で州教育局体育課職員を交えたクライミング体験講習会を実施。11月には審判講習会も予定されています。



1. MR MAM SOTHARIN
2. MR TUY BUNHOEUN
3. MS SAU SOKUNVORY
4. MR SEAM RORN
5. MR SRY KIMSROY
6. MR SEM VOTTRA
7. MS SOPHEA VANNE
8. MS IN TEVY
9. MR KHOEM MESA
10. MR SOR SEYHA
11. MS LEANG SEREY RACHANA

President
Vice-President
Vice-President
Secretary-General
Deputy Secretary-General
Deputy Secretary-General
Treasurer-General
Deputy-Treasurer-General
Member
Member
Member
Phnom Penh 14th Feb 2020



2024年までのCCF役員、以前とは異なり、理事長のソテリン氏以下11人中8人がクライマーです。ACNカンボジア代表のスムロンが昨年までと同様に事務局長を務めています。IFSC(国際クライミング連盟)や今年1月に訪問して下さったJMSCA(日本山岳クライミング協会)等との対外連絡を彼がしています。昨年のIFSC総会では東京で行われスムロンも来日しましたが、今年のIFSC総会では地中海のキプロスで予定されていました。遠いので、参加は無理と申し込みせずにいましたら、何とかコロナで総会はテレビ会議となり、あらかじめ送付された議題について、数回の質疑応答を繰り返して最後に投票という形になり、カンボジアも会議に参加できました。写真にスムロン、あの平山ユージさんの名もあります。

ナショナルチームのインドネシアトレーニング計画

No	Name	Date of birth
1	Seam Rorn	02 nd Sep 1977
2	Cho Chanay	06 th Jul 1995
3	Sor Seyha	20 th Jan 1997
4	Nuon Sovannak	23 rd Oct 1998
5	Sambath Pheaktra	04 th Oct 2001
6	Huy Yanfei	13 th Jul 2002
7	Yin Pi Sey	1 st Feb 1997
8	Meas Sreynich	1 st Feb 1995



このナショナルチームの写真は、昨年10月の中国少年招待試合の前に撮ったので、その後のアンコールカップで上位入賞してチーム入りした3人が写っていませんが、今年4月の正月休みには、インドネシアのスラバヤでインドネシアチームと一週間の合同トレーニング計画がありました。スポンサーのタイカさんが新メンバーのパスポート取得費用と、上の表の1コーチ7選手分の往復航空券代を2月に出して下さっていたのですが、3月からはインドネシアへのフライトがなくなり、計画は延期となりました。エアアジアの航空券については1年以内に再予約すればさらに1年以内有効とされていますが、フライトがまだ復旧していませんので、これについては今のところ全く予定が立っていません。コロナで待ちぼうけは、みんなだけじゃないからね！今少し待ってそれぞれの場所で地道にトレーニングしてほしいものです。

一方、日本との間の行き来も現在は難しい状態です。いつもは日本からルートセット、大会運営のため何人か渡航していたアンコールカップですが、それができない状態です。この選手たちはすでにナショナルチームに選出されているので、無理して上位入賞を狙わなくても良いわけですから、交代でルートを作ってもらい、12月にはカンボジア人だけで大会ができるように、準備中です。

NPO 法人アンコール・クライマーズ・ネット通常総会

例年ならバーベキューと花火を子供たちと一緒に楽しむ総会なのですが、今年は8月15日昼過ぎにハケ岳山麓の山荘のベランダで三密を避け会議のみを行い、右の2019年度事業報告書、活動計算書等の審議と承認、2年毎の役員改選をおこないました。その後、調布市役所、東京都庁、東京法務局府中支局へ報告書や議事録等必要書類を提出しました。

都庁へ提出した貸借対照表については、規定に従いACNのウェブサイト <http://www.angkorclimbers.net/> に掲載しておりますので、そちらもどうぞご覧ください。

第2号議案 役員任期満了につき改選の件

議長は、役員全員が令和2年8月31日任期満了につきその改選方を議場に諮ったところ満場一致をもって、次の者が役員に選任され、被選任者は、いずれもその席上就任を承諾した。

理事 浅井 和英(重任)
理事 安田 至宏(重任)
理事 伊藤 明子(重任)
理事 堀田 圭子(重任)
理事 有泉 重正(重任)
理事 高木 智子(重任)
理事 榎澤 健治(重任)
理事 才原 明男(重任)
監事 鴨志田 智也(重任)
監事 吉富 明(重任)

都庁に提出した昨年度の事業報告書

法務局に届け出た総会議事録の一部です。日本国内のほうは、代表理事の浅井和英以下理事監事全員2022年8月までこれまでと同じメンバーです。

書式第12号(法第28条関係)

令和元年度 事業報告書

令和元年7月1日から 令和2年6月30日まで

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット

1. 事業の成果

以下の事業を実施した。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
1. スポーツ・クライミングの技術指導	・シェムリアップ州内近隣の中学生を主対象としたクライミングの講習会を毎週末、土曜、日曜に実施	通年	カンボジア/アンコール・クライミング・ウォーク	日本人10人、カンボジア人10人、その他10人	シェムリアップ州内中学生300人、青少年300人	29
2. 交流会、講習会、競技会の開催・運営の指導	・アンコールカップ競技会実施指導等	12月	カンボジア/アンコール・クライミング・ウォーク	日本人6人、カンボジア人7人、その他7人	カンボジア人90人	39
3. 関連地域住民との積極的な交流	・他国へのコンペ参加等人工工の積極的な現地活動支援	通年	カンボジア/アンコール・クライミング・ウォーク	日本人4人、カンボジア人4人、その他4人	カンボジア人12人	1,027
4. 前号に掲げた事業を行う団体、個人への支援	・カンボジアクライミング連盟への活動資金援助	通年	カンボジア/アンコール・クライミング・ウォーク	日本人7人、カンボジア人4人、その他4人	カンボジア人4人、その他4人	56
5. その他、目的を遂行するために国内での現地活動紹介	・グローバルフェスタ他	通年	日本国内	日本人15人、その他15人	主として日本人450人	113
計						1,264

(2) その他の事業

当該事業年度は実施しなかった。

日本では例年ならグローバルフェスタの頃でした

10月6日は国際協力の日、その日の前後にこれまで29年間日比谷公園またはお台場で続いてきたグローバルフェスタですが、今年は新型コロナのため中止です。わがACNも2014年の初参加以来ピラミッドジャパン様のご協力によりクライミング体験ブースを出展し、たくさんの方々に試登していただきました。昨年は、「なんでだろう？」のテツ&トモのお二人も登りに来てくださいました。（という言葉を書き込んで皆様をグローバルフェスタにお誘いしようと、テツ&トモさんに写真の掲載許可もいただいていたのですが残念！）また来年お台場でお会いしましょう。



From ACN's Desk : 事務局から

・NPO法人としての会員は現在 52 名、会員として継続的な支援をお願いします

■特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット (ACN)

ACNへ入会をご希望の方は、随時下記事務局宛て、郵送、電話、メール、のいずれかでお知らせください。一般個人会員の年会費は¥5,000です。事業年度(7/1～翌年6/30まで)に対応して納入をお願いしています。例年ならばこの時期には皆さまに年末のコンペ後の抽選会に出す景品等のご寄贈のお願いをしているのですが、新型コロナによる渡航制限のため、旅行荷物としてそれらを運搬することができないばかりか、通常は発送後2カ月ほどでシェムリアップに到着している船便が3カ月～4カ月かかり、通常1週間以内のEMSが到着に3週間ほどかかっている状態ですから、今年は景品寄贈のお願いも控えているところです。そうした間にも、この雨季を経て、現地人工壁の維持管理には、物と人手が必要です。みなさまが会員になって支えてくだされば、安全なクライミングの場の維持と、そこでの講習や試合が継続でき、それを通して、カンボジアの青少年の、健全な成長を助けることができます。この機会にどうぞ入会をお願いいたします。

事務局 〒182-0025 東京都調布市多摩川5-3-1-506 tel. 042-498-2488 Email: info@angkorclimbers.net

・寄付・寄贈 2008年にNGOとしてスタートしてから 2020/8/31 現在までの、寄付金累積総額は、¥10,666,140 + US\$14,257

となりました。また、里親基金累計総額は、¥5,180,000 + US\$1,250 です。大変ありがとうございました。

、2020年3月から8月までに、ご寄付、ご寄贈、里親出資いただいた方は次の通りです。なお、本お知らせは、ニューズレターと連携して対応する期間に寄付された方のお名前だけを本誌にて、順次お知らせしています。

一寄付 浅田信一郎様、有泉重正様、才原明男様、林武子様、クロマーユーユー様、高橋千鶴子様、堀田圭子様

一寄贈 ※寄贈及び奉仕活動をもってご支援いただいた方も含みます。

(株)タイカ様、日本山岳クライミング協会様、Phnom Climb Community Gym 様、高木智子様、堀田圭子様、新保司様、Lisa Twaronite 様、福神和子様、野草茶のかりん様 そのほか T シャツ、クロマー、頑張るゾウさん、などを通じてご協力いただいた方々のお名前はその都度記録していませんが、10 人以上の方々から、ご寄付をいただきました。ありがとうございました。グローバルフェスタが中止でしたので、ゾウさん、T シャツ、クロマー等まだ在庫あります。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

一里親 堀田圭子様、才原明男様 (順不同)

★★★ 寄付及び会費専用口座 ★★★

■ゆうちょ銀行

記号 10010
番号 75286831
口座名 アンコールクライマーズネット

■三菱 UFJ 銀行

支店名：調布支店
預金種目：普通預金 口座番号：0081781
口座名：アンコールクライマーズネット

Web サイトでもご確認いただけます。

<http://www.angkorclimbers.net/>

☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆

■ Facebook

<https://www.facebook.com/angkorclimbersnet/>

☆☆☆ アンコールクライマーズネット連絡先 ☆☆☆

■アンコールクライマーズネット (日本)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506
tel. 042-498-2488

■アンコールクライマーズネット (カンボジア)

Angkor Climbers Net (ACN)
tel. +855-(0)92-336 924, +855-(0)12-793 221

・人工壁所在地 (この宛名に上記電話番号 092-336924 併記で局留になります。電話番号の記入がないと届きません。郵便物の宅配は、ありません)

Angkor Climbing Wall (グーグルマップ上の名称です。3 輪タクシー PasApp 等はこの名前でウォールに案内してくれます。)

Krous village, Svay Dangkum commune, Siem Reap city, Siem Reap province, Cambodia

■ email info@angkorclimbers.net

第 10 回アンコールカップ記念大会！？

Editor's note



Angkor Cup 2019



2011 年の第 1 回アンコールカップから、今年は数えて 10 回目 華々しく第 10 回記念大会！とでも銘打ちたかったところですが、新型コロナで残念、むしろ規模縮小（選手審判ビレイヤー含め 100 人までの無観客試合）が求められる大会になる予定です。日本人がそのために渡航できないのも初めてということになりそうですが、カンボジア人だけで企画・運営・実行する良い機会でもあります。新学期が来年 1 月からになった

ため、例年は 8 月実施の 12 年生卒業国家試験が 12 月になります。昨年のコースジュニア、コース A の男子リード・ボルダリング優勝者がともに今年は 12 年生ですから、国家試験とコンペが重ならないようにしてもらいたいです。詳しい日程は後日お知らせしますが、12 月 10 日頃実施の予定です。競技の様子は、ACN, CCF そして選手役員誰かしらのフェイスブックでほぼ進行と同時にご覧いただけたらと思います。皆さまからもどうぞ暖かい声援をよろしくお願いいたします。(Chimi)

Contents

- 01 コロナで大変ですが
- 03 新 CCF の活動
- 04 ナショナルチームのインドネシアトレーニング計画
- NPO 総会
- 05 グローバルフェスタ

アンコールクライマーズネットニュースレター

2020 年 10 月号 NO. 2020 年 10 月 6 日発行 非売品

特定非営利活動法人アンコール・クライマーズ・ネット

発行人 代表理事 浅井和英

編集人 事務局 伊藤明子

発行 アンコールクライマーズネット (Angkor Climbers Net)

〒182-0025 東京都調布市多摩川 5-3-1-506

tel 042-498-2488 fax 042-498-2488

©禁無断転載

www.angkorclimbers.net

facebook [angkorclimbersnet](https://www.facebook.com/angkorclimbersnet)